

## 東京ソイルリサーチ創立60周年

# 受け継がれる使命、共に描く未来図

## 大型民間事業の実績重ねる

東京ソイルリサーチ(東京都目黒区、辻本勝彦社長)は、今年で創立60周年を迎えた。地盤調査の技術力を生かして、都市部の民間開発事業などを中心に実績を積み重ねてきた。2024年にE・Jホールディングスの傘下に入り、シナジー(相乗効果)を生かした事業展開に取り組んでいる。今回、60周年を記念して辻本社長とE・JHDの小谷裕司社長が対談。技術者の育成を含め、将来に向けた活動について意見を交わした。

株式会社東京ソイルリサーチ  
代表取締役社長

辻本 勝彦氏

対談

E・Jホールディングス株式会社  
代表取締役社長

小谷 裕司氏



辻本氏



小谷氏

## グループ全体で効果的な提案を

す。

——地盤調査だけでなく、基礎・建物まで一貫して対応する体制を整えています。

辻本 コア事業の地盤調査では、地盤の動的性質の調査に秀でた会社として評価を受け、多くの超高層建築物などの調査を行っています。地盤調査以外にも、既存構造物の耐震診断・補強設計業務に力を注いでいます。91年にはオランダのIFCO社と技術提携し、杭の非破壊試験技術を導入するなど構造物の診断業務を拡充してきました。その他、基礎の健全性評価、設計用入力地盤データの作成など業務領域の拡大を図り、地盤から基礎・建物に至るまで一貫して手掛ける体制を整えてきました。これは他社にない独自の強みです。最近では、新築構造物の構造設計や土木設計も行っています。

——東京ソイルリサーチをグループに迎えた狙いは、どのようなシナジーを見込んでいるのでしょうか。

小谷 凍結サンプリング工法は、新潟地震に端を発し、液状化した地盤の調査を行うために開発された工法です。東京ソイルリサーチでは、都心部や地方部の建築事業、関西圏などを含め、大型事業の地盤調査を数多く手掛けています。これまでE・Jグループが主体としてきた公共事業分野で、民間事業を中心に地盤データを蓄積してきた東京ソイルリサーチが連携すれば、地盤条件が悪いエリアで今後行われるインフラ整備でも効果的な提案が行えるようになると思います。

辻本 当社が傘下に入り、相互の顧客に対し、多様な高度な技術サービスを提供できるようになると考えています。経営資源を共有化し、生産性向上や収益拡大に向けたシナジーの実現に取り組んでいます。当社でも土木分野の業務を増やせるのではないかと期待しています。

小谷 社長はこれまで「東京ソイルリサーチの民間顧客ネットワークを活用したい」と発言しています。小谷 空き家が増えている地方都市において、今後も再開発が進んでいくと見込まれます。再開発では、デベロッパーが事業全体の取りまとめを行います。その動向を把握する上で、東京ソイルリサーチが民間事業を主体に培ったノウハウや実績が生きてくると思っています。街全体に視野を広げれば、公共交通やインフラの在り方を含めて都市を再構築する上で、E・Jグループ全体で効果的な提案を行えると考えています。

——巨大地震や豪雨災害の発生が懸念される中、地盤技術の役割はどう変わっていくのでしょうか。

辻本 地盤技術は「社会の安心・安全を支えるもの」です。地盤が脆弱(ぜいじゃく)な日本では、特に重要な役割があるとされています。可視化できない地下の状態など、地盤情報を収集・分析する地盤技術は、構造物の強靱化にも寄与します。災害発生時の迅速な復旧にも必須です。今後はDXやAI活用への積極的な取り組みやデジタルツインへの対応が求められると思っています。

——グループに所属する若手技術者への期待を。

小谷 エイト日本技術開発は、本年度から入社した各社員に自らのパース(存在意義)を書いてもらうことにしました。技術者としてどんな役割を果たして会社に貢献していきたいのかを明確にしてもらい、効果的な人材育成や人員配置に役立てるのが目的です。E・Jグループを選んだ就職してくる人材は、それぞれ思いを生かして活動してもらうために、グループ各社の経営者には、人材を資本と捉えて育成や活用に積極投資するという「人的経営」に取り組もうという問題提起をしています。

辻本 当社の技術力を持・向上させる上で、人材を大切にすることを今後も変わりません。社員には、先ほども申し上げた企業理念を忘れず、技術者として真摯(しんしん)に業務に取り組んでほしいと思っています。地盤のスペシャリストとして深い専門性を持ちながら、他分野の技術を理解する広い視野を持つことも必要となるでしょう。当社内でも各技術者の考え方をヒアリングしながら、個々の思いとミスマッチのないような人材育成を行ってまいります。

——60周年を迎え、さらに将来に向けたビジョンをお聞かせください。

辻本 当社で仕事をを行う醍醐味(だいごみ)は、お客さまの地盤、基礎、既存構造物の課題を解決して、安心・安全な建物を提供できることです。そのことに誇りを持って、引き続き取り組んでいきたいと思っています。その中で企業理念に掲げた会社であり続け、社員が安心して挑戦し、自らの意志で貢献できるような会社を目指してまいります。E・Jグループの一員として、100年企業を実現するために、既存事業を維持・拡大しながら周辺領域にも広げていくように果敢に挑戦してまいります。

——東京ソイルリサーチを含めたE・Jグループの将来像をどのように考えていますか。

小谷 優れた技術力と判断力をベリに貢献していくことがグループ全体での目標です。公共事業を主体に取り組み中で、発注者の判断に委ねる部分が多くありました。これからは、発注者に委ねていた判断を含め、建設コンサルタントの責任において取り組むことになると認識する必要があるでしょう。そうであれば、生き残っていくには、強みとする領域をグループ各社で補完し合いながら、しっかりとした技術力に対応できるような体制づくりに取り組んでいきたいと考えています。

## 変わりゆく未来へ挑み続ける専門家集団

### ミッション

人々の安全と安心を支えるために、自然と共存するための専門技術と人材をもって広く社会の発展に貢献する

### 経営理念

地盤から建物までの良きパートナーとして、技術とサービスを追求し、お客様から信頼され、必要とされる企業を目指します

### 長期ビジョン

「地盤や構造物の調査・設計業務にワンストップで対応できる専門家集団」になること



東京ソイルリサーチ  
コーポレートサイト



株式会社 東京ソイルリサーチ  
TOKYO SOIL RESEARCH CO.,LTD.

<https://www.tokyosoil.co.jp/>

本社 〒152-0021 東京都目黒区東が丘 2-11-16 TEL 03-3410-7221 FAX 03-3418-0127



E・Jホールディングス株式会社

<https://www.ej-hds.co.jp/>

〒700-0087 岡山市北区津島京町 3-1-21 TEL 086-252-7520 FAX 086-252-8918



E・Jホールディングス  
コーポレートサイト

